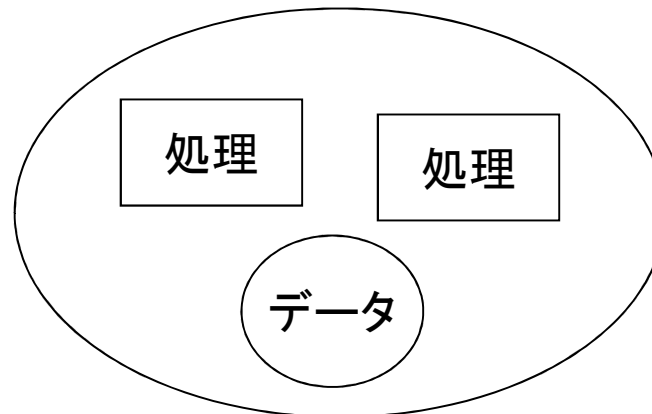




クラス・継承・インターフェース

クラスとは？

- 関連性のあるデータをひとまとまりで扱うためのもの
 - Excelなどで作成した関連性のあるデータをまとめたテンプレートファイルのようなイメージ
 - イメージしづらければ設計図や金型のイメージでもOK
- 大半がnewをしてから使用する
 - 「newをすること」=「オブジェクトの作成」

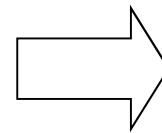
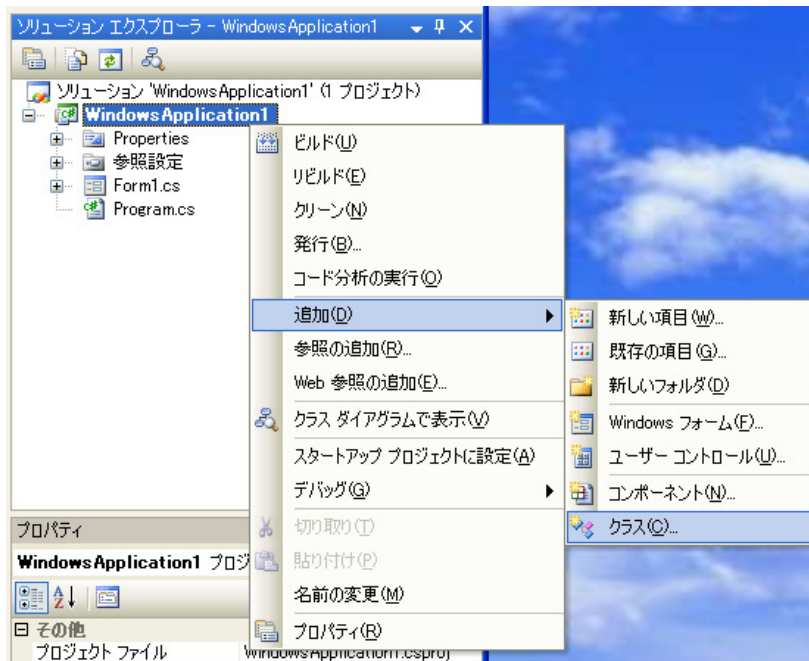


クラスを考える

- クラスを作成する
 - どういうデータを中心にするのか考える
 - そのデータを使ってどういう処理をするか考える
- ちょっと考えてみましょう
 - サイコロをクラスにしてみましょう

クラスファイルの作成方法

- Visual Studioのプロジェクトを右クリック
→新規追加→クラスの追加
 - クラスの宣言も自動でされている



```
1 using System;  
2 using System.Collections.Generic;  
3 using System.Text;  
4  
5 namespace WindowsApplication1  
6 {  
7     class Class1  
8     {  
9     }  
10 }  
11
```

クラスの宣言方法

例

```
class Employee
{
    //コンストラクタ
    public Employee()
    {
    }
    //プロパティやメンバ関数などを追加していく
}
```

2005以降ではpublicが自動で記述されませんが
publicと同じ動作になります。

クラスの中にクラスを宣言する場合はprivate、protected
が有効になります。

また、publicを付けたクラスと付けていないクラスを混ぜ
てビルドすることは出来ません